

大学や研究機関・企業等との連携

長浜バイオ大学・ 長浜バイオインキュベーションセンター

長浜バイオ大学は、日本初・日本唯一のバイオ系単科大学です。

また、大学に隣接する長浜バイオインキュベーションセンターは、長浜市におけるバイオ関連分野の創業及び事業化を支援する施設で、農業分野等の研究が、産学官連携で進められています。



◀長浜バイオ大学



長浜バイオ
インキュベーション
センター▶

長浜アカデミックサポートチーム (NAST)

バイオ関連事業に取り組む企業等に専門的な知識・技術を活用して事業化を支援する専門家組織です。長浜伝承野菜推進部会を設置し、栄養価の高い尾上菜・高月菜を研究しています。長浜市に蓄積されたバイオ技術を活用して優良種子を選別し、地域伝統野菜のブランド化を推進します。

可能性の広がりを期待

長浜バイオ大学学長 蔡晃植さん
(長浜アカデミックサポートチーム)



小谷城SICの開通は、長浜ブランドを外に発信できるチャンスです。

そのためには、小谷城SIC周辺だけでなく、長浜全体、もっと広域に目を向け、大きな視点でまちづくりを進めるべきでしょう。6次産業拠点整備となると供給することばかりに目が行きますが、広報戦略を含めて需要を喚起しなければ長くは続きません。

私は、栄養価の高い尾上菜など長浜の伝統野菜に着目しています。調べてみると尾上菜は栽培が難しく、現在では数件の農家で栽培されているだけのようです。本学では、地域貢献のため尾上菜について最先端バイオで研究し、その情報を地域に提供することで、尾上菜をブランド化したいと考えています。「地域が繋いできた伝統野菜がバイオの力で復活、発展した。」となれば、このこと自体も注目されるポイントと成り得ます。

これを足がかりに小谷城SICが生かせれば、長浜の可能性は無限の広がりを見せることとなるでしょう。



▲尾上菜

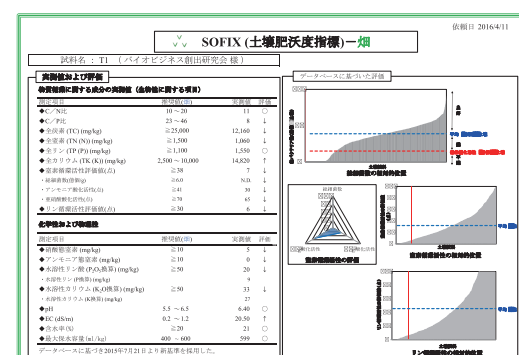


▲尾上菜漬漬け

立命館大学・SOFIX 農業推進機構

SOFIX(ソフィックス)とは、立命館大学生命科学部 久保幹教授らにより、開発された土壌の診断技術。有機栽培をはじめとする物質循環型農業に望ましい土壌成分の量とバランスが数値化され、見えるようになりました。

化学肥料を使わない有機農業では、経験に頼らざるを得ませんでした。この技術を使って生物的分析を行えるようになり、有機肥料を用いた「土づくり」の科学的な処方箋を出すことを可能にしました。



改善

有機肥料を用いた
「土づくり」後(H28.7月)▶
総細菌数が増加し、土壌が
改良されました。

◀ながはまアグリ試験農場
開設時(H28.4月)
土壌の栄養分が不足し、
細菌数が少ない

